

# 摩文仁のフィールドワークプラン

## ☆ 韓国の塔

### \* 碑文を読む

沖縄戦において1万人余の朝鮮人が犠牲になったこと  
碑文に刻まれた「虐殺」の2文字（県内の碑文で虐殺の  
文字があるのはここだけ）



### \* 韓国の塔の広場で

15年戦争における「韓国併合」の歴史

朝鮮半島からの強制連行の問題

沖縄における「従軍慰安婦」「朝鮮人軍夫」の実態

なぜ、日本国内で沖縄県にこれだけ多くの「従軍慰安所」が置かれたのか

（沖縄県内に131箇所確認）→資料館展示

## ☆ 平和の礎

### \* 朝鮮人犠牲者の刻銘の実態

- ・大韓民国 364名、朝鮮民主主義人民共和国 82名  
計で446名（2009年6月23日現在）

- ・韓国の塔の碑文による犠牲者の数と「平和の礎」  
の刻銘の数の違い

- ・空白の刻銘版の意味を考える

### \* 名前のない刻銘を見つける

- ・〇〇の長女など
- ・犠牲者の名前さえ分からない沖縄戦の実態



### \* 各県、各市町村の刻銘者の数をみる 「資料沖縄戦市町村捏犠牲者数」

- ・他県では北海道が圧倒的に多い  
（24師団の編成、旭川で編成され、満州の関東軍、南京と渡って沖縄に進駐）
- ・全市町村にわたって刻銘がある  
（沖縄全体を巻き込んだ戦闘）
- ・家族で多くの犠牲者が出ている  
（一家全滅の場合も多い）
- ・宜野湾市、浦添市、西原町の中部の地域の戦死率が高い
- ・糸満市、東風平町、南風原町などの南部の町が人口の割に犠牲者が多い

- ・ 直接地上戦がなかった石垣市や竹富町の犠牲者も多い  
(戦争マラリアの実態)
- ・ 対馬丸などの軍命による強制疎開船の犠牲者の刻銘の問題  
(遺族会の要望・・・)
- ・ 戦争責任者(司令官等)と一般の民衆の犠牲者が同じように刻銘されていることをどう評価するか  
(ドイツにたとえるとアドルフ・ヒトラーとアンネ・フランクが同じように並んでいる。  
日本軍の司令官(牛島満) 高級参謀(長勇) 米軍司令官(バックナー)  
に刻銘を見つける。)

## ☆ ギーザバンダの場所で

海岸線での最後の沖縄戦の実態

10数mの崖っぷちで生死の境名を分けた。



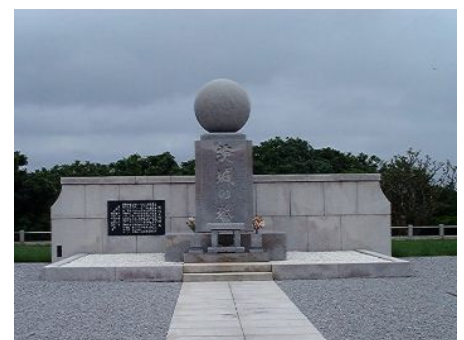
## ☆ 摩文仁の丘 黎明の塔

牛島司令官最後の命令の意味→資料館展示

\* 各県の碑文を読む

沢山あるので特徴的な碑文を

- ・ 茨城県、熊本県、静岡県等ほとんど  
大東亜戦争、英霊、異国の地、奮闘・・・等々  
軍国調、靖国的  
我が県出身の兵士の頑張りで今の日本の平和がある  
あの戦争の反省の視点がない  
沖縄を外地(異国)扱いしている
- ・ 平和主義的な視点にたっている碑文  
滋賀県(平成2年に新しくなっている)  
京都府(嘉数高地)



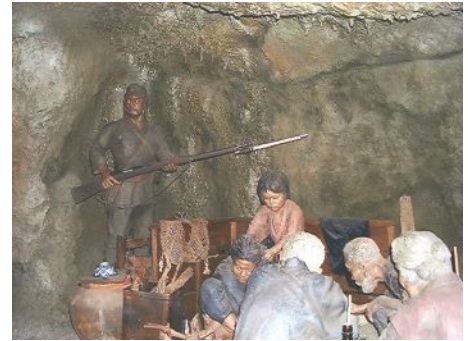
## ☆ 沖縄県平和祈念資料館

みる視点

- \* 沖縄戦の実相を反映しているか
- ・ 皇民化教育の徹底、沖縄差別がバックグラウンドにある

(沖縄県民のスパイ視、方言の禁止等)

- ・ 本土(天皇制国体維持)防衛の捨て石作戦である  
(近衛上奏文、住民を巻きこんだ持久戦の作戦)
- ・ 日本軍の軍事基地の強制摂取  
(現在の米軍基地の基礎は日本軍がつくった)
- ・ 圧倒的に多い一般住民の犠牲
- ・ 沖縄民衆を守らなかった天皇の軍隊  
(住民虐殺、集団死の強制等)
- ・ 朝鮮人の強制連行の実態  
(朝鮮人の犠牲者、県内の従軍慰安所等)
- ・ 軍命による戦争マラリアの実態
- ・ 学童疎開船の犠牲者の実態



## 戦後の沖縄

- ・ 戦後の捕虜収容所の実態と軍事基地建設
- ・ 1950年代の日本独立と引き替えに建設された沖縄の基地
- ・ 沖縄を切り捨てた「天皇メッセージ」
- ・ 沖縄住民の自治権と平和を求める闘い
- ・ 軍事基地の「即時無条件全面」返還をもとめた祖国復帰運動
- ・ 1972年復帰の評価と問題点
- ・ 基地被害の実態
- ・ 現在も全国の米軍基地の75%が集中する沖縄